人と人がつながる

オレンジヘルプカード

オレンジヘルプカードとは

認知症状のある方の中には手助けが必要であっても、自分から「困った」となかなか伝えられない方や困っていることを自覚できていない方もいます。
「オレンジヘルプカード」は、認知症状のある方が普段から携帯しておくことで、困った際に、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくなるカードです。

オレンジヘルプカードがあることで期待できること

本人にとって　…
理解や手助けを得られます

家族にとって　…
本人が困った時に、周囲の人から手助けを得られやすくなることで、安心につながります

認知症上に対する理解の促進
オレンジヘルプカードを持っている方の存在や認知症への理解を広めます

表

東京都東久留米市

オレンジヘルプカード

日常生活で周囲の方の
ご理解を必要としています。
声かけやサポートをお願いいたします。

サポートしてほしいこと　記入日　　年　　月　　日

【記入例】
帰り道がわからなくなりやすいので、道に迷っているようであれば、声をかけてほしい。

裏

このカードは、サポートを必要としている方の手助けとなるよう、東久留米市介護福祉課が発行しているものです。
本人が困っており、緊急の際は、警察や下記までご連絡をお願いいたします。

緊急連絡先TEL
みまもりシール　　あり　・　なし
登録番号【　　】

緊急連絡先の記入は**任意**です
また、みまもりシールの利用有無をご記入ください
登録番号はシールの番号になります